

地域の安全と安心を守る

大口町消防団



大口町消防団の歴史

明治初期の大口町では、各戸でそれぞれ防火に努めていましたが、明治10年ごろには、各集落に木造箱型の竜吐水が備えられ、火災警備の強化を目的とした組織づくりが進められました。それに伴い、消防組織の原型となる「消防組」が設置されました。

明治25年ごろには、各集落に腕用ポンプが導入され、20歳から40歳前後の男子が各家庭から1人ずつ消防組に加入し、火災などの緊急事態に備えるとともに、地域の安全を守る役割を担っていました。

その後、昭和23年3月に消防組織法が施行され、「大口町消防団」として自治消防組織となり、令和の現在までに78年の歴史を重ねています。

現在は、9分団と予防啓発団員で構成され、総勢80名の団員が地域の安心・安全を守るために日々活動しています。



腕用ポンプ



明治初期の大口消防組半てん

大口町消防団の主な活動

3月 大口町消防団任命式

消防ポンプ基本操作訓練

5月 水防訓練

6月 大口町
小型ポンプ操法大会



8月 部隊訓練

11月 ふれあいまつり出展
火災予防町内啓発
大口町消防観閲式

地域防災の中核を担う消防団員の日頃の訓練の成果を披露するとともに、消防職員・団員の士気高揚を目的におこないます。



12月 年末夜警

1月 丹羽郡消防出初式

一年の無災害を祈念するとともに、消防職員・団員の士気を高め、住民の皆さんに防火・防災の意識を高めてもらう目的で毎年実施しています。徒歩部隊と車両部隊から成る分列行進、消防ポンプによる一斉放水などをおこないます。



ふれあいまつり啓発活動



地域の啓発活動





消防団員インタビュー

自分自身の成長ややりがいを感じる

下小口分団 稲葉悠斗さん

入団して何年目ですか？

2年目になります。(令和6年4月より入団)

入団したきっかけは？

もともと消防団を知りませんでした。知るきっかけとなったのは、大口町役場へ入庁し、消防・防災業務に携わったときです。そこで、自分たちの町の安全と安心を守るために活動している地元の方々を見て、一緒に活動したいと思い、入団しました。

消防団に入っよかったことは？

地域との繋がりが深まることももちろんですが、私自身としては、防災の知識・技術が身につくことが、一番良かったと感じています。ほかに、消火器やホースの使い方、応急手当やAEDなど。災害・火災時に大切な方たちを守るための知識や技術をより深く得られることが良かったです。

普段、消防団としてどのような活動をしていますか？

定期的な消防訓練(ホース点検・



消防団の魅力は？

ポンプ操作)や夜警をおこなっています。また、火災時には、現場に急行し、住民さんの避難誘導(交通規制)や放水作業(残火処理など)をおこないます。その他、地域防災向上のための啓発活動や地域行事(お祭り)での警備活動などもあります。

地域との繋がりがや災害時の対応スキル・防災知識の向上が魅力の一つだと思います。

また、自分たちの町を守るといふこの活動は、責任感や協調性が自然と身につくため、自分自身の成長ややりがいを感じることが出来ます。

入団して一番印象に残っていることはなんですか？

初めての火災出動(現場活動)が一番印象に残っています。実際に燃えている家屋の前に立った時は、衝撃を受けました。火の

必要とされるのであればと入団を決意

秋田分団 棚村恭章さん

入団11年目の棚村さん、入団したきっかけは？

消防団員の方に誘われ、必要とされるのであればと思い、入団を決意しました。

消防団に入っよかったことは？

地域の方々に顔を覚えていたとき、関わり合いが持てるようになったことです。また、AEDの取り扱いや応急手当などの知識を習得し、緊急時にも対応できると思います。

普段、消防団としてどのような活動をしていますか？

火災時に万全な対応をするため、定期的なホース点検や訓練を実施しています。

消防団の魅力は？

自分たちの住んでいる地域に貢献していることです。



入団して一番印象に残っていることはなんですか？

皆で一つのことに向かって対応するため、結束力が芽生えます。

初めての火災で出動した時、間近に見た現場のすごさ、怖さが印象的で記憶に焼き付いています。火事の恐ろしさを実感し、「火事はすべてを燃やし尽くしてしまう」という言葉の意味がわかりました。

地域に貢献できる消防団に入団

中小口分団 西村梨花さん

入団して何年目ですか？

入団して4年目になります。

入団したきっかけは？

もともとボランティア活動に関心がありました。消防団員である父の勧めもあり、地域に貢献できる活動として入団を決意しました。

消防団に入ってよかったことは？

地域のさまざまな活動に参加でき、多くの方とつながりを持てたことです。地域への理解も深まり、自分の視野が広がったと感じています。

普段、消防団としてどのような活動をしていますか？

ホースや器具の点検、防火水槽の確認など、いざという時に備えた活動を定期的におこなっています。



消防団の魅力は？

団員や消防関係者の皆さんがとても温かく、初めてでもすぐに打ち解けられたことです。年齢や職業を問わず、多くの仲間と協力し合える点が魅力だと思います。

入団して一番印象に残っていることはありますか？

県大会に出場した際、選手だけでなく団員全員が一丸となり、全国大会を目指して力を合わせた経験がとても印象に残っています。また、実際の消火活動を通じて、火災の恐ろしさを実感しました。人命や財産を一瞬で奪う火災は、絶対に起こしてはならないと強く感じました。

新入団員を募集しています

消防団は、地域の防災に欠かせない大切な存在です。現在、大口町消防団では、団員の高齢化と減少が課題となっており、地域によっては団員数が不足しているところもあります。

団員の確保は、地域の防災力を高めるうえで非常に重要です。安全で安心な郷土を守るために、皆さんのご入団を心よりお待ちしております。

います。

消防団に興味・関心のある方は、お気軽にお問い合わせてください。

入団資格 18歳以上で大口町にお住まいの方

活用内容 防火広報活動

機器点検、訓練活動、火

災・災害時の出勤など

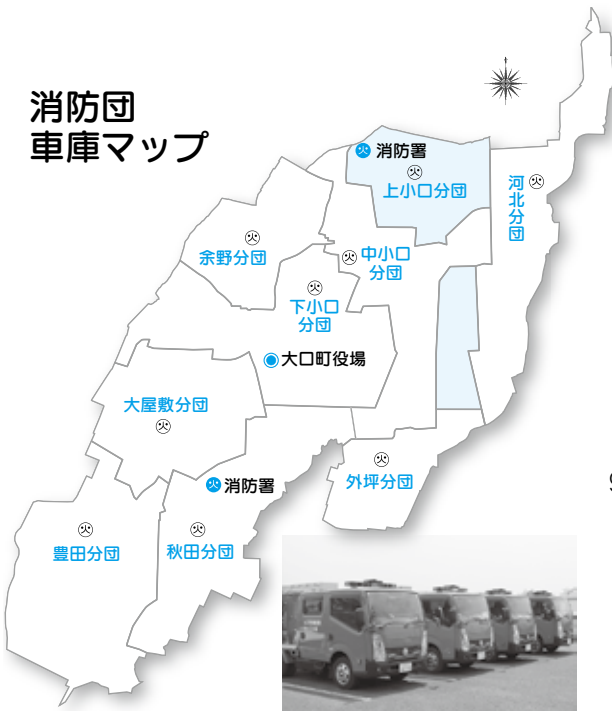
待遇 非常勤特別職の地方公務員、報酬など支給、被服

などの支給

問合せ先 町民安全課

☎95-19060

消防団 車庫マップ



令和7年度 (8月1日現在) 消防団員数

	幹部	予防啓発員	秋田	豊田	大屋敷	外坪	河北	余野	上小口	中小口	下小口	合計
人数	3人	8人	9人	4人	3人	8人	10人	9人	10人	6人	10人	80人
平均年齢	52.3歳	45.8歳	42歳	37.3歳	45歳	42.9歳	44.5歳	38.9歳	42.4歳	42.7歳	40.9歳	42.6歳